

時間のドロボー

テレビは時間ドロボーである。疲れて家に帰ってきて、もうなんにもする気がしないときなど、ついテレビをつけると、なんだかにぎやかに騒いでいたり、その日のスポーツの結果を繰り返し映したりしているから、ぼーっと見てしまう。見ている番組が終わると今度はもの足りなくなって、チャンネル切り替えのコントローラーを探し出し、パツパツパツと、じつに便利に画面を変えていく。

あんまり見たいと思う番組はなくても、ピーナツを食べ始めたのと同じで、中毒に近づいている。無いともの足りないから、画面を消さないのである。そうやって30分単位で時間を盗まれ続けて、結局深夜の映画を見終わったら、明け方の4時に近かった、という経験がある。それですっかり生活のリズムが狂ってしまう。目に悪い、体に悪い、アタマに悪い、などと勝手なことを言うけれど、テレビ局としては、どんな手段を使っても、視聴者を画面に惹きつけておくのが商売であるから、それに引かかるこちらが悪いのである。

翌日、人に会って、昨日のテレビの話をしてみると、みんな見ていたとみえて、じつによく話が通じる。みんな時間ドロボーにあっていたのである。その時間に頭を使って読書をする、会話を交わすというのではなく、みんな私と同じようにぼんやりして、光り輝く画面を眺めてアホになっていたのである。

逆にテレビを見ていなければ、人と話が通じない。漫画を読んでも、ギャグが解らない、クロスワードパズルも解けないということになる。静かに秋の月でも眺めようと、テレビを消し、電灯を消して窓を開け放つと、隣家のテレビの大音声とバカ笑いがとび込んでくる。

単語

ドロボー thief, burglar, robber, theft

繰り返す to repeat, to do something over again

映す to project, to reflect, to cast (shadow)

ぼーっと doing nothing, being stupified, vaguely, dazedly, blankly

じつに indeed, really, absolutely, truly, actually, very, quite

中毒(する) 1. poisoning 2. addiction

明け方 dawn

狂う 1. to go mad 2. to get out of order, to go amiss

視聴者 viewer, (television) audience

惹く to attract, to captivate

引かかる to be caught in, to be stuck in, to be cheated

ぼんやり absent-minded, blockhead, dim, faint, vague

輝く to shine, to glitter, to sparkle

眺める to view, to gaze at

ギャグ joke, gag

電灯 electric light

開け放つ to throw open, to leave open

隣家 neighbouring house